

## データパスの準備が整っていることの確認

この章は、次の内容で構成されています。

- ダイナミック vNIC が稼働中であることの確認, 1 ページ
- イーサネットデータパスの確認、2ページ
- ファイバチャネルエンドホストモードのデータパスの確認,2ページ
- ファイバチャネルスイッチモードのデータパスの確認,3ページ

### ダイナミック vNIC が稼働中であることの確認

ダイナミック vNIC、および VMware vCenter との統合を含む Cisco UCS をアップグレードする場 合、データ パスの中断を回避するために、以前のプライマリ ファブリック インターコネクトで 新しいソフトウェアをアクティブにする前に、すべてのダイナミック vNIC が新しいファブリッ クインターコネクトで稼働中であることを確認する必要があります。

この手順は Cisco UCS Manager GUI で実行します。

### 手順

- ステップ1 [Navigation] ペインの [VM] タブをクリックします。
- **ステップ2** [VM] タブで、[All] > [VMware] > [Virtual Machines] を展開します。
- ステップ3 ダイナミック vNIC を確認する仮想マシンを展開し、ダイナミック vNIC を選択します。
- **ステップ4** [Work] ペインで、[VIF] タブをクリックします。
- ステップ5 [VIF] タブで、各 VIF の [Status] カラムが [Online] であることを確認します。
- **ステップ6** すべての仮想マシンですべてのダイナミック vNIC の VIF のステータスが [Online] であることを 確認するまで、ステップ3~5を繰り返します。

## イーサネット データ パスの確認

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ1	UCS-A /fabric-interconnect # connect nxos {a   b}	ファブリックインターコネクトのNX-OSモード を開始します。
ステップ2	UCS-A(nxos)# show int br   grep -v down   wc –l	アクティブなイーサネットインターフェイスの 数を返します。 この数がアップグレードの前に稼働していたイー サネットインターフェイスの数と一致すること を確認します。
ステップ3	UCS-A(nxos)# show platform fwm info hw-stm   grep '1.'   wc –l	MAC アドレスの合計数を返します。 この数がアップグレード前のMAC アドレスの数 と一致することを確認します。

次の例では、従属ファブリック インターコネクト A のアクティブなイーサネット インターフェ イスおよび MAC アドレスの数が返され、ファブリック インターコネクトのイーサネット データ パスが稼働していることを確認できます。

```
UCS-A /fabric-interconnect # connect nxos a
UCS-A(nxos)# show int br | grep -v down | wc -l
86
UCS-A(nxos)# show platform fwm info hw-stm | grep '1.' | wc -l
80
```

ファイバ チャネル エンドホスト モードのデータ パスの

確認

Cisco UCS ドメインのアップグレード時に最適な結果を得るためには、アップグレードを開始す る前、および従属ファブリックインターコネクトをアクティブ化した後にこのタスクを実行し、 2つの結果を比較することを推奨します。

	コマンドまたはアクション	目的	
ステップ1	UCS-A /fabric-interconnect # connect nxos {a   b}	ファブリック インターコネクトの NX-OS モー ドを開始します。	
ステップ <b>2</b>	UCS-A(nxos)# <b>show npv</b> flogi-table	flogi セッションのテーブルを表示します。	
ステップ3	UCS-A(nxos)# show npv flogi-table   grep fc   wc -l	ファブリック インターコネクトにログインし たサーバの数を返します。	
		出力は、アップグレードの開始前にこの確認を 行ったときに受け取った出力と一致している必 要があります。	

手順

次の例では、flogiテーブルおよび従属ファブリックインターコネクトAにログインしたサーバの 数が返され、ファブリックインターコネクトのファイバチャネルデータパスがファイバチャネ ルエンドホストモードで稼働していることを確認できます。

```
UCS-A /fabric-interconnect # connect nxos a
UCS-A(nxos)# show npv flogi-table
```

SERVER INTERFACE	VSAN	FCID	PORT NAME	NODE NAME	EXTERNAL INTERFACE
vfc705 vfc713 vfc717	700 700 700	0x69000a 0x690009 0x690001	20:00:00:25:b5:27:03:01 20:00:00:25:b5:27:07:01 20:00:00:25:b5:27:08:01	20:00:00:25:b5:27:03:00 20:00:00:25:b5:27:07:00 20:00:00:25:b5:27:08:00	fc3/1 fc3/1 fc3/1 fc3/1

Total number of flogi = 3.

```
UCS-A(nxos) # show npv flogi-table | grep fc | wc -l 3
```

# ファイバ チャネル スイッチ モードのデータ パスの確認

Cisco UCS ドメインのアップグレード時に最適な結果を得るためには、アップグレードを開始す る前、および従属ファブリックインターコネクトをアクティブ化した後にこのタスクを実行し、 2つの結果を比較することを推奨します。

#### 手順

	コマンドまたはアクション	目的	
ステップ1	UCS-A /fabric-interconnect # connect nxos {a   b}	ファブリック インターコネクトの NX-OS モー ドを開始します。	

1

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ2	UCS-A(nxos)# show flogi database	flogi セッションのテーブルを表示します。
ステップ3	UCS-A(nxos)# show flogi database   grep –I fc   wc –1	ファブリック インターコネクトにログインし たサーバの数を返します。
		出力は、アップグレードの開始前にこの確認を 行ったときに受け取った出力と一致している必 要があります。

次の例では、flogiテーブルおよび従属ファブリックインターコネクトAにログインしたサーバの 数が返され、ファブリックインターコネクトのファイバチャネルデータパスがファイバチャネ ルエンドホストモードで稼働していることを確認できます。

UCS-A /fabric-interconnect # connect nxos a UCS-A(nxos) # **show flogi database** 

INTERFACE	VSAN	FCID	PORT NAME	NODE NAME
vfc726 vfc728 vfc744 vfc748 vfc768 vfc768 vfc772 vfc778	800 800 800 800 800 800 800 800 800	0xef0003 0xef0007 0xef0004 0xef0005 0xef0006 0xef0002 0xef0000 0xef0001	20:00:00:25:b5:26:07:02 20:00:00:25:b5:26:07:04 20:00:00:25:b5:26:03:02 20:00:00:25:b5:26:04:02 20:00:00:25:b5:26:05:02 20:00:00:25:b5:26:02:02 20:00:00:25:b5:26:06:02 20:00:00:25:b5:26:01:02	20:00:00:25:b5:26:07:00 20:00:00:25:b5:26:07:00 20:00:00:25:b5:26:03:00 20:00:00:25:b5:26:04:00 20:00:00:25:b5:26:05:00 20:00:00:25:b5:26:02:00 20:00:00:25:b5:26:06:00 20:00:00:25:b5:26:01:00
Total number of flogi = 8. UCS-A(nxos) # <b>show flogi database   grep fc   wc -1</b> 8				